



神奈川県

KANAGAWA

*Think Together  
about Kanagawa*  
ともに考えよう。かながわのこと。

# かながわグランドデザイン

第3期実施計画 | プロジェクト編  
2019-2022

令和元年 7月

# 目次

策定に当たって	002
プロジェクト	007
柱Ⅰ 健康長寿	010
柱Ⅱ 経済のエンジン	020
柱Ⅲ 安全・安心	030
柱Ⅳ ひとのチカラ	038
柱Ⅴ まちづくり	052
かながわグランドデザインとSDGs	066
神奈川の戦略	074
計画推進のための行政運営	092
プロジェクトの指標・KPI	098
プロジェクトと主要施策との関係	124
参考 神奈川をとりまく状況	134

この冊子では、「県民」、「県」及び「神奈川」を次の意味で使用しています。

「**県民**」：神奈川県で活動する者すべてを含む総称とし、住民、勤務者、法人、団体を含みます。  
（なお、一人ひとりの個人や住民の活動に着目する場合は、「県民」を個人の意味で用い、「県民、企業」などと列記します。）

「**県**」：行政としての神奈川県を指します。

「**神奈川**」：行政だけではなく、県民や県土などを含む県全体を指します。

# 県民の皆様へ

県では、平成24年3月に「かながわグランドデザイン基本構想」及び「実施計画」、平成27年7月に「第2期実施計画」をとりまとめ、未病をキーワードとした超高齢社会を乗り越えるための取組みや、国家戦略特区などの特区制度を活用した経済のエンジンを回す取組みなど、基本理念である「いのち輝くマグネット神奈川」の礎となる取組みを、着実に進めてきました。

このたび、平成30年度に「第2期実施計画」の計画期間が終了したことから、県民や団体、市町村などの皆様からいただいた意見を反映させながら、総合計画審議会でご審議をいただき、「第3期実施計画」を策定しました。

「第3期実施計画」では、これまで取り組んできた政策をSDGsの理念なども踏まえてさらに進化させ、令和元年度から令和4年度までの4年間に県が取り組む政策をお示ししています。

「よく笑う人ほど健康である」という研究報告もあるように、未病を改善し、健康になるためには、良い笑いの総量を増やすことが大切です。また、「笑い」は人と人とが触れ合うことで生まれるとともに、「笑い」が広がるとコミュニティが充実し、コミュニティが充実してくると「笑い」が広がるという良い循環が生まれてきます。

そこで、「コミュニティの再生・活性化による笑いあふれる100歳時代」に向けて、「第3期実施計画」に掲げた施策に全力で取り組みます。そして、この神奈川の地から未来の暮らしを創造し、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現をめざしてまいります。計画の推進に当たっては、引き続き、施策の実施状況について政策評価を行い、その評価に基づき政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」により、効果的・効率的な政策運営を行ってまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和元年7月

神奈川県知事  
馬場祐治

